



情報ステーション

しろやま



防災の決め手は

コミュニティ



はじめに、この度の東北関東大震災の被災者の皆様に心からお見舞申し上げます。

さて、城山地区防災訓練が2月5日(土)、城山東小学校区自治会(立岩、瓦作、坂本、東・西・上・ニュータウン駒生)と共催で、同校で実施しました。当該自治会長、役員、消防、関係団体の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

比較的暖かい天気恵まれ、参加者の多くに、設定した目的の①防災意識の高揚②被害を最小限に抑える知識・任務を体得していただけたものと思っております。今回の訓練で上記目的①②の大略達成を喜びとしますが、住みよいまちづくりをふまえ、次年度実施のため提案をいたします。

災害発生時に生活弱者といわれる年少者・高齢者・身体虚弱者への更なる配慮に努めることです。本県はこれまで自然災害が少なかった為、発生時の多様な深刻さに総じて皆が無頓着になっているのに加えて、身近な地域社会の、よい意味での昔ながらの絆が日に日に切れている現状により、生活弱者はその混乱に、強く巻き込まれる。これを避けるために、各自治会は、個人情報を守る観点から難しさはあるが、民児協・社会福祉協議会等々との関係を密にし、住民の日常生活の情報を豊かにしておくことが、いざ災害の際、効率的に活動できることになるでしょう。

防災の決め手は「コミュニティ」にあり。

城山地区防災会 会長 池田 正之



あなたの街のスポーツクラブが始まります!!

「ジョイスポしろやま」 会員を募集します!



●入会手続きについて

城山地域スポーツクラブ「ジョイスポしろやま」が、いよいよ5月に設立します。
多くの皆様の入会をお待ちしています。

入会申込用紙に必要事項を記入し、郵送または、事務局までお持ちください。

区 分		年 会 費	保険料(年額)
個人 会 員	大人(高校生以上)	3,600円(月300円)	1,600円
	子供(小中学生)	2,400円(月200円)	600円
	シニア(65歳以上)	2,400円(月200円)	800円
夫婦会員		5,400円(月450円)	3,200円
家族会員		8,400円	大人1,600円×人数 子供 600円×人数

年会費のお支払いは、振込になります。払込手数料は足利銀行大谷出張所からは無料となります。

●各教室・講座等の予定

種 目	会 場	曜 日	時 間
卓 球	城山中	金曜日	夜7:00~
バドミントン	城山中央小	土曜日	午後1:30~
	城山中	水曜日	夜7:00~
ソフトバレーボール	城山中	木曜日	夜7:00~
3B体操	城山中 ミーティング室	水曜日	夜7:00~
レクリエーションなど	城山中	2回/月曜日	夜7:00~
		第1/3土曜日	夜7:00~



〒321-0345 宇都宮市大谷町1423 城山中学校体育館内

ジョイスポしろやまスポーツクラブ事務局

EVENT  10月



第55回城山地区体育祭



網ひき

10月11日(月)青空の下、城山中学校校庭で、城山地区体育祭が開催され、各自治会代表選手の皆様の競技への真剣な取り組みと子ども達の明るい笑顔、今年も見ることができました。

中でも、城山競輪の選手の激闘や、百足リレーでのチームワークと必死に走り続ける姿を見て、城山地区の素晴らしさを再確認できました。そして、最後の町内対抗リレーは、観客総立ちの応援となり今年も最高に盛り上がりました。

最後になりましたが、各自治会の皆様と役員の皆様に感謝申し上げます。今後ともご協力よろしくお願いします。

体育協会理事長 篠原 貴也



城山競輪



百足リレー



玉入れ

EVENT  10月

ひとり暮らし高齢者 「一日憩いのつどい」に参加して



昨年10月29日(金)、ひとり暮らし高齢者の方々をご招待して、ひとり暮らし「一日憩いのつどい」(城山地区社会福祉協議会主催)が開催されました。参加者は、民生委員・福祉協力員を含めて88名、当日は天候にも恵まれ、午前9時30分に城山地区市民センターを送迎バスで出発し、10分ほど



で目的のニューサンピア栃木(鹿沼市栃窪)に到着。豪華な昼食をはさんで午前・午後のお芝居を観劇したほか、温泉につかったりと心行くまで楽しんだ後、帰路につきました。参加者の多くがこの催しを楽しみにしており、送迎バスの中でも会話が弾み笑顔があふれていました。

民生委員 笹原 定一

EVENT 11月

文化祭・農業祭が開催されました

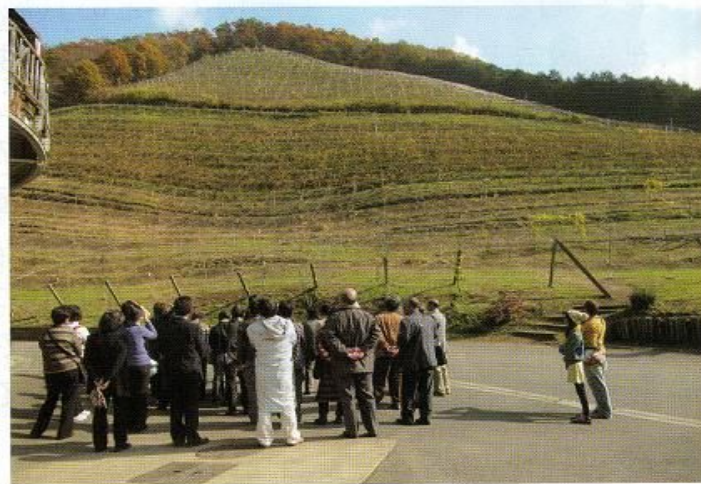
11月6日(土)、7日(日)に城山地区文化祭・農業祭が城山地区市民センターにおいて開催されました。6日は作品展のほか、城山映画祭で「石山の歌」と「平和観音開眼まつり」が上映されました。7日はホールアトラクションや模擬店、農産物即売のほか、しろやま検定や盲学校の生徒によるマッサージコーナー、子ども広場、健康コーナーなど、特色ある催しが行われ、多くの人々が足を運んでくださいました。



「城山地区社会福祉協議会研修」に参加して

昨年11月26日(金)、城山地区社会福祉協議会主催の研修会が行われ、自治会長、民生委員、福祉協力員の合計34名の参加者がありました。今回の視察先である足利市の知的障がい者厚生施設「こころみ学園」は、半世紀以上にわたり知的障がいのある人を受け入れ、ぶどうを栽培しワインを造ることや、しいたけの原木栽培などの作業を通して、自立支援を手助けしてきました。そこでは、たとえ障がいのある人であっても、作業の内容によっては健常者に優る能力を発揮し、生きがいを持って生活できることを実証している素晴らしい学園であると感じました。この研修後の12月17日に、こころみ学園の川田昇園長がお亡くなりになったと知り、その業績に敬意を表するとともにご冥福をお祈り申し上げます。

民生委員 笹原 定一



EVENT 1月

城山中学校区

成人式が開催されました

城山中学校区成人式が、1月9日（日）コンセーレにおいて行われました。102名の新成人が記念式典に出席し、市長からのビデオメッセージや来賓の方々からお祝いや激励の言葉をいただきました。式は厳粛な雰囲気の中で行われ、新成人代表の北條清彦さんと若松瞳さんの「誓いの言葉」は新鮮な気持ちで、立派な社会人になろうという自覚と決意が感じられる



素晴らしい内容でした。その後の記念事業は、中学校時代の恩師や友人との記念撮影やお世話になった方々へのメッセージ紹介などで盛り上がりました。新成人の皆さんの今後の活躍が楽しみな一日でした。

成人式実施委員会 阿部 一男



EVENT 1月

城山地区

コミュニティ協議会新年会

城山地区コミュニティ協議会の新年会が、1月15日（土）午後6時からレストラン盤石で開かれ、各自治会や団体の代表等86名の出席者で大いに賑わいました。

年頭の挨拶で野崎コミュニティ協議会長は、まちづくり懇談会で市長に提言した多気山の展望台・休憩所等の整備状況に触れて、「着々と進行しています。完成すれば宇都宮最大の観光スポット、城山活性化の目玉になります」と明言、明るい話題で口火を切りました。平成23年の城山活性化については、スポーツクラブが5月にオープンすること、大谷まちづくり意見交換会が大谷地区振興策を取りまとめており、近々市長に提案できる見通しであることを話され、出席者も納得の表情で聞き入っていたようです。結びに、「今年も新たな課題を解決するとともに、大谷地区の活性化に向けた振興策を推進し、安全で安心な誇れるまちづくりの年にしたい」と、力強く抱負を述べておられたのが印象的でした。

城山地区コミュニティ協議会事務局 小林 輝



野崎会長あいさつ

「古賀志孝子号」順調に運行

～「おらが町に乗り合いタクシーが走る」地域活性化に黄金の足～

地域住民の強力な支援のおかげで、今年の12月1日(水)より「古賀志孝子号」を運行しています。

12月は113名、1月は142名の方が利用しました。古賀志公民館を基点に東は大谷方面の公共施設や病院等を経由して駒生営業所まで、また、古賀志住民の生活圏である鹿沼方面の商業施設や病院、公共施設等に1日7便(午前8時30分から午後5時30分)の運行となっています。



運行開始式での市長あいさつ

実際に乗車した人からは、「今まで外に出ないことが多かったが、今は自分の足で買い物をしたり、食事に行ったり、新たな世界が開けた感じですよ」という声も聞かれました。



第1号乗車の北條マサさん

「古賀志孝子号の運行が始まったのだから、どんなことがあっても無くしてはなんねいな」という地域の方からの言葉を金言に、地域住民の方により多く利用していただき、古賀志に住んで良かったと思えるまちづくりの一助として走り続けることを願ってやみません。

古賀志孝子号運営協議会事務局長 枝 俊男

大谷まちづくり意見交換会を行っています。

城山地区コミュニティ協議会では、昨年6月から「大谷まちづくり意見交換会」を開催し、地域の目指す姿や、そのための具体策を明らかにする「大谷地域の総合的な振興策」の策定に取り組んでいます。

策定メンバーは、当協議会の構成団体から推薦された、野崎会長以下31名から成り、今後、地域と行政が共有し、今後のまちづくりの指針となる地域振興策となるよう、取組の骨格の整理と着手可能な具体策を取りまとめていきます。

これまで「現状と課題」や「城山地区の良い所」を出し合いました。その成果は「意見交換会特集号」として皆さんにお配りいたします。また、これらを城山地区市民センターロビーにも掲示します。ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。



古賀志町が「とちぎのふるさと田園風景百選」に認定

やすらぎと、うるおいと、夢のある古賀志町が、「とちぎのふるさと田園風景百選」に上位ランクで選ばれ、2月2日(水)認定証を授与されました。

私たちの住む古賀志は関東の名低山、583mの古賀志山を背景に、四季折々の風景を映してくれる唐沢沼の水面、整備された遊歩道、多くの人の心をとらえるカタクリの花。春夏秋冬の古賀志は、豊かな自然環境に恵まれ、多くの果樹類をはじめ良質な農産物が実り、活気あふれる地域であります。

百選選定委員会による選定基準には、すぐれた田園風景ばかりでなく、その地域に住む人たちとともにできあがった田園風景という大きな指針もありました。地域・学校・多くの住民が参加して毎年4月に行われる孝子桜祭りも、大きい役割があったと思われます。

古賀志に住んでよかった、これから住んでみたい、行ってみたいと言われるように、百年たっても変わることなく、古賀志の田園風景を私たちのこの手で、心で保ち続けていきたいものです。

古賀志町自治会 枝 俊男



フェスタin大谷が開催されました

第11回フェスタin大谷を昨年の11月13日(土)・14日(日)に大谷景観公園などを会場に開催しました。また、11月23日(火)には、多氣山持宝院においてリーディングライブを行い、大勢の方々に感動していただきました。今回、フェスタの内容を見直し、新たに熱気球の搭乗体験や、大谷石を利用した家具・小物・絵付けなどの販売・展示も実施しました。また、日が暮れると大谷の各所でライトアップを行い、大谷公園の石あかりとともに、大谷の夜を彩りました。

まだまだ検討を重ねなければならないことがあるかと思えます

が、今後とも地域の方々や多方面の方々に、もっと大谷の素晴らしさを知っていただき、フェスタin大谷の時だけではなく、いつでも観光の地・大谷に多くの人々が賑わうような街になれば幸いです。最後に、フェスタin大谷にご協力・ご協賛くださった地域の皆様に感謝いたすとともに、今後ともご支援お願い致します。

フェスタin大谷実行委員会 委員長 石下 光良



大谷石あかり

山城としての多氣山(その3)

つい最近の史跡研究では、専門語で「長城ライン」と呼ばれる山城の防御設備が発見されています。それは、現在の通称「鉢巻ライン」とよばれている多氣山中腹の山林組合の管理用道路としての「林道」を指します。昔の戦国時代の「長城ライン」をそのまま多氣山の裾野に向けて防御のための土塁を削平して、簡易舗装の工事をしただけで林道を進むと、多氣山持宝院の住職さんが説明の際に良く口にする「この多氣山には、枯れたことのない水飲み場が二つあります」という、そのうちの一つに出くわすのです。飲み水として口当たりが良いとみえまして、結構ここで乗用車を留めて、ペットボトルなどで持ち帰る人をよく見かけます。(もう一つは鐘衝堂の奥にあります)

これから、戦国時代の絵地図にも載っている「七曲がり坂」にかかるのですが、林道の簡易舗装の上で付け加えることが一つ残っているのです。それは次のようなことです。この林道は多氣山の中腹を一周できる(オフロードの車で)位置にあるので鉢巻ラインとも呼ばれています。

戦国時代に「横矢掛け」も出来る出っ張りをとところどころ防御上設けたのです。ここでは、戦国時代も終わりの時代なので、当然「鉄砲=種子島銃」が据付られる陣地でもありました。長篠の戦いでは、織田信長が3,000挺の鉄砲を実戦に使用して、有名な【三段構い】で勝利しています。ここでも防御が堅いと見た小田原勢は麓まで攻めてきましたが、遂に山の中に攻め上がることはしなかったということです。

宇都宮市文化財解説・観光ガイド 永森 庄仁

編集後記

宇都宮在住の99歳、柴田トヨさんが出版した詩集『くじけないで』(飛鳥新社)が150万部を超えるベストセラーとなっています。柴田さんは90歳を過ぎてから息子さんの勧めで詩を書くようになったそうです。詩の一つ『貯金』を紹介します。

私ね 人からやさしさを貰ったら
心に貯金しておくの
さびしくなった時は
それを引き出して元気になる
あなたも今から 積んでおきなさい
年金より いいわよ

広報部 川鍋

城山地区ホームページが楽しい!



「情報ステーションしろやま」の創刊号(1号)から最新号までを収録しております。是非ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>

城山地区の人口(平成23年2月末日現在)

- 総世帯数 9,008世帯 ●総人口 23,242人
- 男: 11,444人 女: 11,798人

編集・発行

城山地区コミュニティ協議会



〒321-0345 宇都宮市大谷町1059番地5
宇都宮市城山地区市民センター内
TEL 028-652-4794 FAX 028-652-5570